

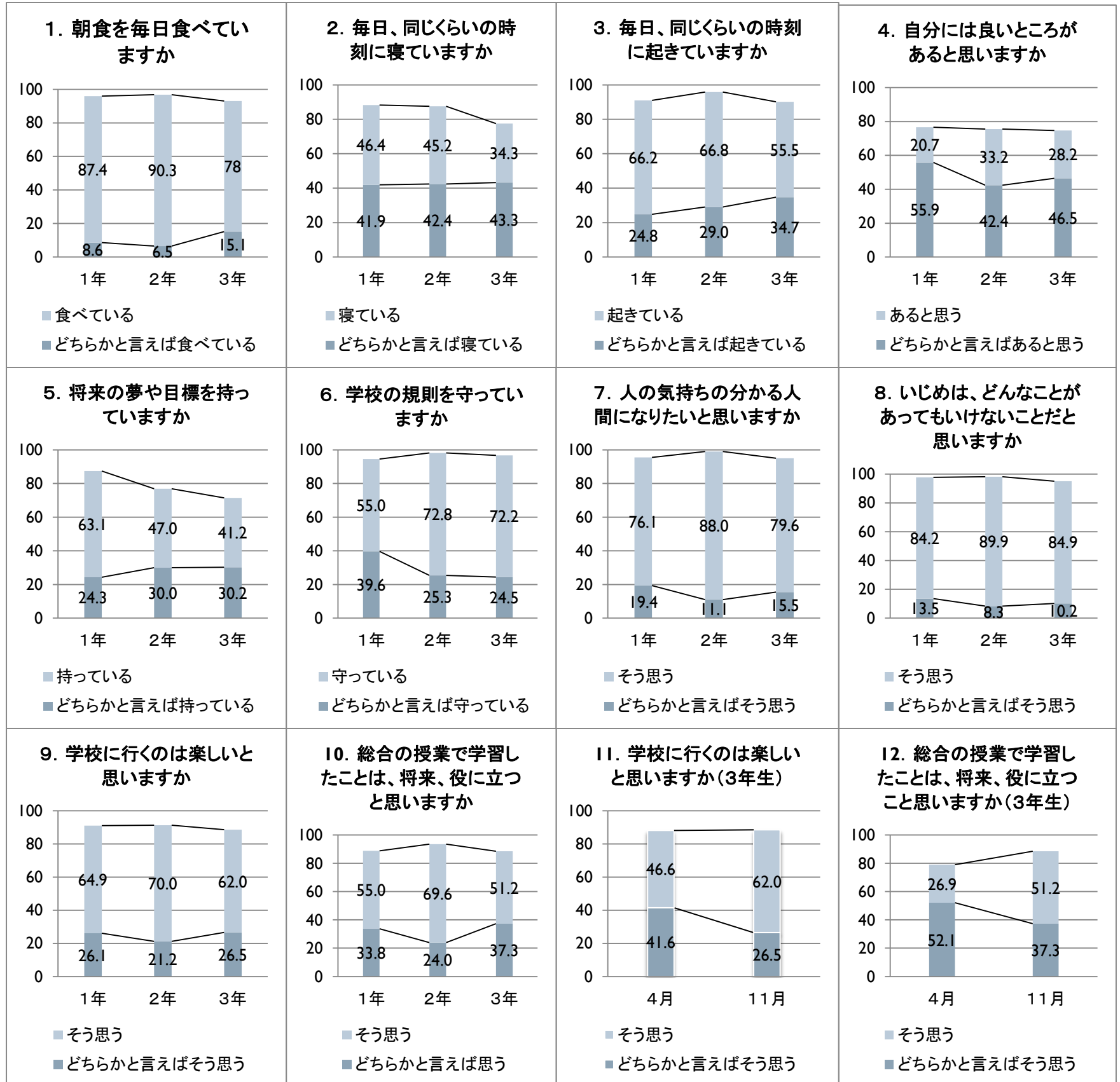


生徒たちの生活アンケートから (2)

(はじめに)

前回に引き続き、生徒に対して11月に行ったアンケートの結果から、学校生活の様子をお伝えします。

今回は、4月に3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の内容を、全学年を対象に実施しました。したがって、1・2年生にとっては初めての調査となりましたが、3年生は、4月と11月の2回にわたりアンケートに答えたことになり、約半年間で生活や意識の変容が見られたものもありました。主な結果は以下のとおりです。



この調査から、本校全体の傾向や、各学年の傾向がだいたいお分かりいただけると思います。

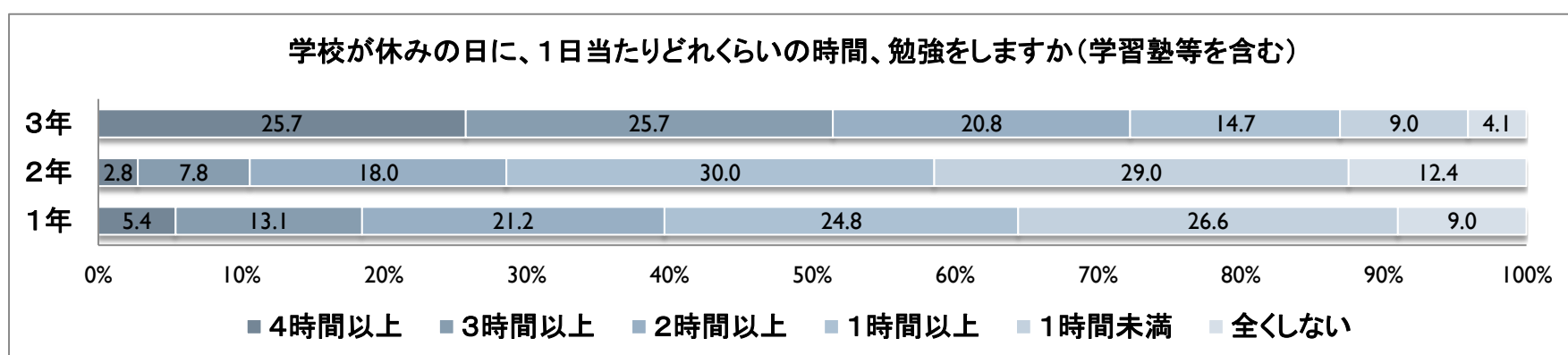
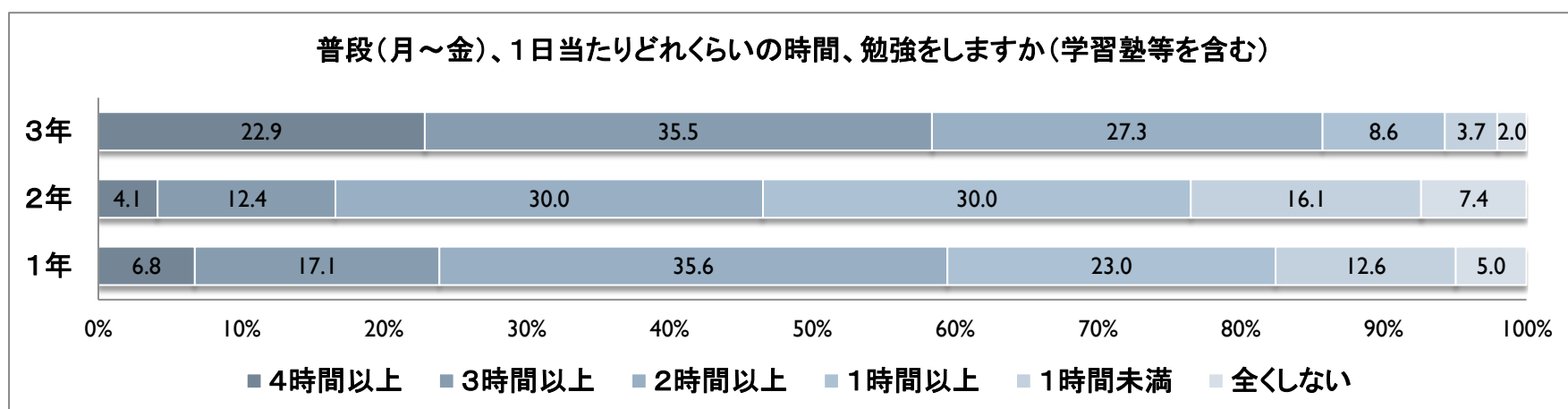
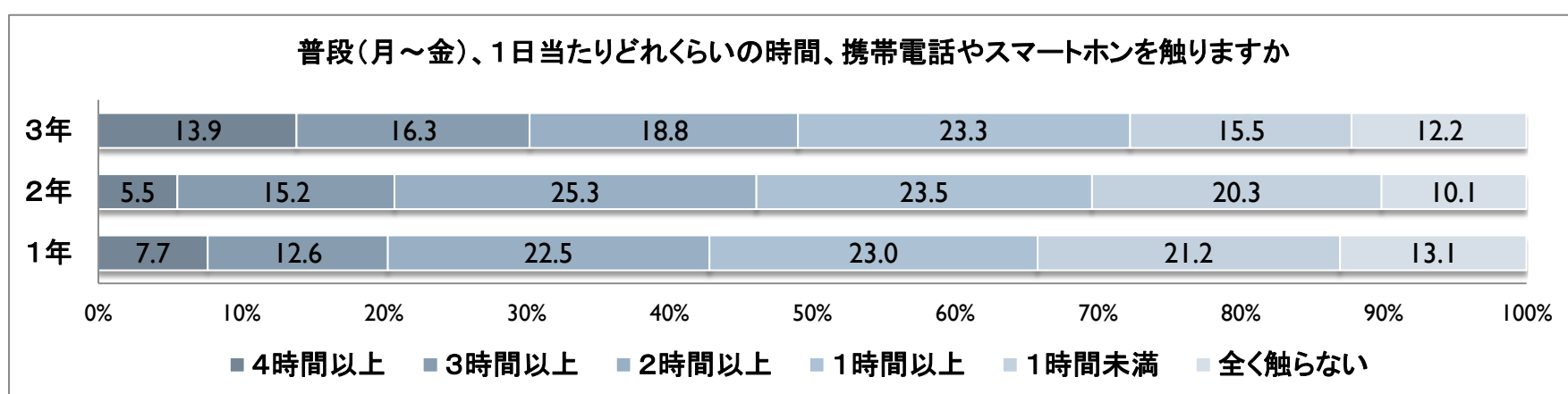
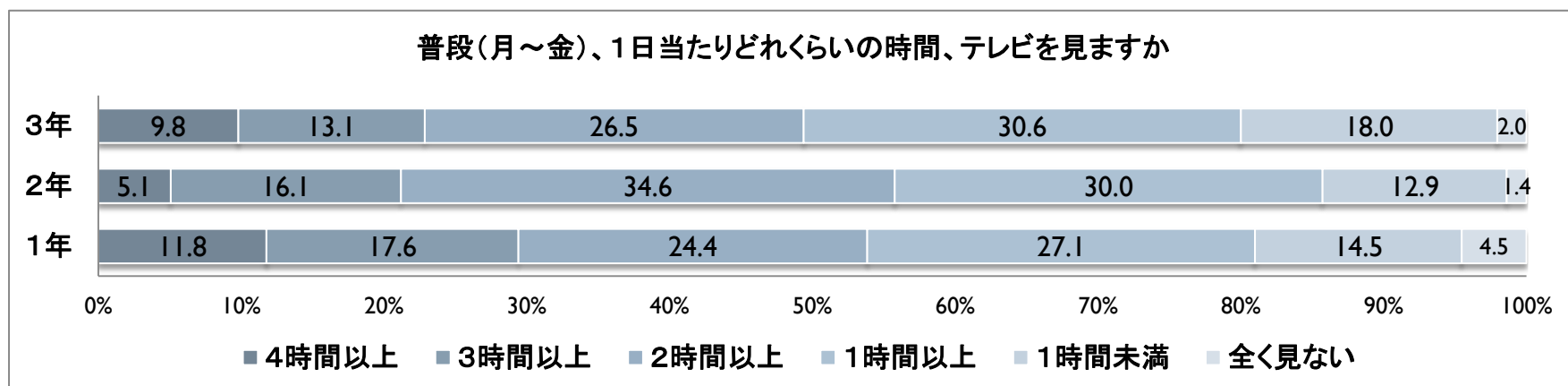
特にご注目いただきたいのは、まず、「11. 学校に行くのは楽しいと思いますか」については、2学期に最後の体育祭や文化祭を満喫できたことがその要因の一つと思われます。また、「12. 総合の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」については、11月に体験した総合的な学習の時間における「地域貢献学習」が、こうした結果につながったのではないかと考えられます。いずれにせよ、3年生においては約半年間で、意識の変容をいろいろと読み取ることができました。今後もこのような調査を各学年で年間2回は実施し、その結果の分析を教育活動の参考にしていくとともに、保護者や地域の方々にも発信していく予定です。

※裏面に続きます。

以下は、保護者の皆さんには関心の高い調査結果ではないでしょうか。

家庭学習においては、全国と比較しても少ない状況は、1・2年生にも当てはまるようです。特に2年生は部活動の中心的存在であることが影響しているのでしょうか。とはいえ、来年度は自分の進路を切り拓いていかなければなりません。そのことから、家庭学習の一層の充実が望まれるところです。

一方、携帯電話やスマートホンについては、使用頻度が全国と比較してかなり高い状態となっています。これも3年生が顕著であり、中には一日当たり4時間以上も触っている人がいるというのは心配です。これはテレビをみる時間においても同様です。冬休みもせまっておりますので、各ご家庭で使用のルールを定め、しっかりと守らせていただきますよう、よろしくお願いします。



(おわりに)

本年度は、四日市版コミュニティスクールの指定を受けたこともあり、地域の方々にお世話いただく学習活動がずいぶん増えました。これもひとえに、保護者の皆様のご協力と地域の方々のご支援によるものと深く感謝いたします。

最後に、3年生はいよいよ進路選択に向けての佳境となってきました。今後の奮闘努力を大いに期待しているところです。

さて、この便りもこの号をもって本年の最終号となります。保護者・地域の皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。